

英語科学習指導案

平成30年9月6日(木) 第1校時 2年C組教室

授業学級 2年C組(40名)

授業者 指導教諭

1 題材名 Lesson5 Uluru (NEW CROWN ENGLISH SERIES 2)

2 主眼

好きな国や行ってみたい国についてエッセイを書く場面で、前時までに学んできたことを振り返ったり、前時に作成したメモを参考にペアで質問しながら話したりする活動を通して、好きな国についてのエッセイを書くことができる。

3 本時の位置(全7時間中 第5時)

次時: グループでエッセイの発表会を行う。

4 本時の評価規準

好きな国や行ってみたい国について三段構成で文章を書くことができる。

5 展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	◆学習内容 ◇教師の指導・援助	時間	備考
導入	1 ゲームをし、本時の学習の見通しをもつ。	ア 前の時間は好きな国について考えて、三段構成のメモを作成した。 イ 今日は実際にエッセイを書いていくのだな。 ウ 今まで習ってきた感情などの表現を用いながら書くことができるだろうか。	◆サイモン・セッツを行う。 ◇前時に何をしたか問いかけ、好きな国や行ってみたい国についてのメモを作成したことを確認する。 ◇本時は作成したメモをもとに、文章を書いていくことを伝える。 ◇イやウのような反応からToday's Goalを設定する。	7分	ワークシート
	Today's Goal: 好きな国や行ってみたい国について三段構成からなるエッセイを書こう				
展開	2 これまでに学んできたことを振り返る。	エ giveやlookをエッセイに使うことはできるだろうか。 オ 食べたことがないものにはtasteではなくlookを使えばよさそう。 カ 「～に興味がある」や「～したい」はその国に対する気持ちの部分で使えそう。	◆教科書を参照しながら、Lesson 5で学んできたことを振り返る。 ◇giveやshow、五感を使った表現を学んできたことを示し、エッセイで使えそうな例文を提示する。 ◆教科書p.65のIdea Boxについても触れ、いくつかの表現方法をおさえる。	10分	スライド、板書
	3 会話を通じてエッセイの内容を深める。	キ インターネットで調べてきたことをもとにメモを作成してみよう。 ク 齋藤先生と岡本先生は5W1Hをうまく使いながら会話が続くようにしている。 ケ 「何を」「いつ」などを意識して話してみよう。 コ 先ほどの会話を生かして書いてみよう。 サ イタリアに行った経験を書いていたが、ペアの相手に尋ねられた「いつ行ったか」「どのような気持ちだったか」などを示せばうまく書けそう。 シ アメリカに行きたい気持ちや「そこで何をするか」を説明しよう。	◆メモをもとに、好きな国についてのエッセイを書く。 ◇齋藤先生と会話のモデルを示し、5W1Hを意識して内容に対し質問をして話題を広げながら会話するよう促す。 ◆書いたエッセイをもとにペアで質問しながら会話をする。 ◇ペアでの会話を参考にして「話題を広げて詳しく」を意識して再度エッセイを書き進めるよう促す。 ◇5W1Hを意識するよう注意する。 ◆何人かの生徒の文章をクラス全体で共有する。 ◇好きな国・理由・気持ちの三段構成でうまく書けていることを示唆し、再度エッセイを書く時間をとる。	29分	iPad
終末	本時の評価規準に達していない生徒への手だて ・三段構成で文章を作れていない生徒や文章を書く手が止まってしまっている生徒には、机間指導を行ったり、例文を再度示したりしながら書きすすめるように促す。				
	4 本時を振り返り、次時の活動の見通しを持つ。	ス 先生の提示したとおり、三段構成でエッセイを書くことができた。 セ これまでに習ったfeelを使って、自分の感情を表すことができた。	◇本時の振り返りをワークシートに書くように促す。 ◇スやセのような振り返りから、三段構成のエッセイが書けたこと、次回はエッセイの発表会を行うことを伝える。	4分	

6 反省